

事業所職員向け 発達支援自己評価表

(別添参考様式2)

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。
「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点、課題や改善すべき点など |
|------|---|----|-----|--|
| 体制 | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 4 | | □マンツーマンなので、一人一人のお子さんに応じて、スペースを調整しながらできています。 |
| | 2 職員の配置数は適切であるか | 4 | | □現在はマンツーマンセッションであり、お子さん一人一人に合わせて支援ができています。必要に応じてプロンプターが入ることもあります。 |
| | 3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか | 4 | | □一人一人のお子さんに合わせて、わかりやすいように構造化や視覚支援を取り入れて工夫しています。 □ハード面では身体障害面でのバリアフリー化はできていますが、視覚障害など対応が充分ではないところもあります。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか | 4 | | □毎朝の清掃だけでなく、道具やフロアもその都度清掃・消毒しています。 □お子さんに合わせて、その日の活動によって体育館・遊戯室を使い分けるなど、いろいろ工夫をしています。 |
| 業務改善 | 5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | 3 | 1 | □チームで様子を話し合い、共有しながら目標設定をしています。 □忙しさからすぐに振り返りができないことがあります。 |
| | 6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 4 | | □保護者等向け評価表については、記入しやすいように文言や内容をわかりやすくしてお渡ししています。 □ミニプロは親子通所のため、来所時に意向等についても随時話をしています。 |
| | 7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 4 | | □ホームページにて公開しています。 □評価表の結果を踏まえ、チームで話し合いをして改善しています。 |
| | 8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 4 | | □利用希望の方や相談員さんなど外部の方の見学も受け入れており、ご意見をいただいています。 |
| | 9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 4 | | □外部の研修、本年度はリタリコの研修動画も活用しています。 □個人の学びもチームミーティングでアウトプットする場を設け、チームの学びとなるようにしています。 |
| 支援 | 10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか | 4 | | □親子通所なので、その都度情報や悩み事、その時期による希望（運動会など）を聞き、内容に取り入れています。 □感覚統合や原始反射など含め身体の状態を見て、ニーズや課題の達成につながるよう計画を作成しています。 |
| | 11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 2 | 2 | □職員が個別で作成している物はあるが、標準化と言えるところまでできておらず、職員の学びとともに変化している状態なので、今後標準化していく予定です。 |
| | 12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 4 | | □お子さんの状態、ニーズに応じて、必要な支援を設定しています。 |
| | 13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか | 4 | | □記録用紙にも目標を記載し、常に支援計画を意識して支援ができるようにしています。 |
| | 14 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 4 | | □マンツーマンではあるが、固定化しないように2人以上の担当制とし、常に話し合いながら立案しています。 |
| | 15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 4 | | □発達段階に応じた運動の中でも、季節に合わせて内容を工夫したり、その時々のお子さんの興味関心を取り入れながら楽しく活動できるように工夫しています。 |
| | 16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成しているか | 2 | 2 | □基本的にマンツーマンではあるが、職員とのやりとりから般化につながるよう意識しています。また、年長児ではペアの活動を取り入れることもあります。 |
| | 17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 4 | | □基本的にマンツーマンではあるが、担当が固定ではないので話し合いをしながら取り組んでいます。 |
| | 18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 4 | | □気づいた点や様子などを共有しています。 |
| | 19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 4 | | □記録については、『活動のねらい』として次週保護者にもお渡ししています。 |
| | 20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか | 4 | | □半年に一度の見直しだけでなく、日頃から保護者と話をするようにしています。 |
| 連携 | 21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 4 | | □情報を共有し、基本的に児童発達支援管理責任者が参画しているが、相談員さんのモニタリングなどでは直接の担当がお話をさせていただくこともあります。 |
| | 22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか | 3 | 1 | □必要に応じて連携しています。相談員さんを通じてのことが多いです。 |

| | | | | | |
|-----|-----|---|--|---|--|
| 保護 | 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか | | | □現在医療的ケアが必要なお子さんの利用はないが、看護師もおり、連携体制の準備はしています。 |
| | 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか | | | □ // |
| | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | 4 | | □園からの見学の受け入れや、担当者会、引き継ぎ会にも参画し、情報共有しています。 |
| | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | 4 | | □担当者会や引継ぎ会に参画し、情報共有しています。 |
| | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 3 | 1 | □コロナ禍もあり、今年度は難しいところもあったが、今後積極的に連携していきたいと思います。 |
| | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか | 1 | 3 | □コロナ禍もあり、今年度は難しかったです。 □イベントでは、障がいの有無にかかわらずいるいるな子どもと関わる機会を作っています。 |
| | 29 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか | | 4 | □コロナ禍もあり、参加できていません。 |
| | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 4 | | □活動時や前後に活動の振り返りや家での様子などお話し、その日の活動のねらいと様子について紙面で翌週お渡しし、家庭でも取り組んでほしい運動遊び等も伝えるようにしています。 |
| | 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか | 4 | | □ニーズに応じて実践しています。 |
| | の説明 | 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 4 | |
| 33 | | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか | 4 | | □契約の際にお子さんの様子をしっかりと伺い、計画を作成しています。その後もアセスメントをもとに保護者と話し合いながら作成、説明、確認をしています。 |
| 34 | | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 4 | | □家庭でできる運動遊びなどもお伝えしています。 |
| 35 | | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 4 | | □今年度は『パパプロ・ママプロ』を開催し、交流の場を設けました。コロナが落ち着けば、交流の機会を増やしていきたいと思っています。 |
| 36 | | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 4 | | □Uプロでできることだけでなく、必要なところにつなげていくなど、適切な支援を心掛けています。 |
| 37 | | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 4 | | □広報誌『なないろ』の発行や、ホームページにて行事の報告・お知らせなどをしています。 |
| 38 | | 個人情報の取扱いに十分注意しているか | 4 | | □個人情報には職員一同十分に注意しております。 |
| 39 | | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 4 | | □それぞれのお子さんや保護者に合わせて、わかりやすく伝えるようにしています。 |
| 40 | | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 4 | | □アートイベントでは、作品を飾り、どなたでも見て頂けるようにしたり、ゲーム大会などには地域の子ども参加があったり、貸館で施設を地域に開放するなどしています。 |
| 時等の | | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか | 4 | |
| | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 4 | | □職員で定期的に避難訓練をしています。 □看護師よりケガの応急処置等についても研修・演習を行っています。 |
| | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか | 4 | | □契約時に確認しています。 □看護師よりてんかん発作時の対応研修などもしています。 |
| | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | | | □飲食の機会はなく、保護者が同行しているため、医師の指示書までは求めていませんが、必要に応じて対応していきます。 |
| | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 4 | | □少しでもヒヤリとしたことは報告書を作成し、回覧・ミーティングをしています。積み重ねが事故を防ぐことをミーティングで常に確認しています。 |
| | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 4 | | □研修への参加と、参加できなかった職員には後日内容を周知し、またミーティングの中でも話をしています。 |
| | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか | 4 | | □どのような場合に身体拘束(パニック時に保護を目的として抱きかかえるなど)を行うかは職員間で話し合いをしているが、保護者も同席しており対象となる児童は出ておらず、必要に応じて対応していきます。 |